

本明川桜つつみの桜 (種類・特徴など)

令和5年3月現在

番号	名称	開花時期	開花期	花形	樹形	花の大きさ	花色	特徴
1	河津桜(カワヅザクラ)	(早春)	3月上旬	一重咲き	傘状	大輪	紫紅	早咲きとして有名で花期は1ヶ月と他の桜に比べて長い。カヒザクラとオオシマザクラの自然交雑種と見られ、静岡県河津町に移植され名付けられた。
2	紅枝垂(ベニシダレ)		3月中旬	一重咲き	枝垂れ状	小輪	濃紅	個体によって紅色の濃さや花の形などに変異がみられる。
3	陽光(ヨウコウ)		3月下旬	一重咲き	広卵状	大輪	鮮桃色	第2次世界大戦中に学校教員であった愛媛県在住の高岡正明が、病害虫や寒暖に強い桜を目指し、日本原産のアマキヨシノとカヒザクラを交雑させて作出した品種で、戦死した生徒たちの冥福を祈り、不戦を誓い平和のシンボルとして各地に送られたことで有名。
4	染井吉野(ソメイヨシノ)	(陽春)	4月上旬	一重咲き	傘状	中輪	淡紅	大島桜と江戸彼岸の雑種で伊豆半島で自然にできたものを染井村の植木屋が持って帰り、苗を増殖。
5	陽春(ヨウシュン)		4月上旬	一重咲き	傘状	中輪	淡紅白	染井吉野として植えられた中から愛媛県東温市(旧川内町)の高岡正明により発見された。
6	御室有明(オムロアリアケ)		4月中旬	一重・八重咲き	盃状	大輪	淡紅	一重と八重咲きの株があり、八重咲きものを八重御室有明と呼ぶこともある。花(鼻)が低いことから、「お多福桜」とも称される。
7	御車返し(ミクルマガエシ)		4月中旬	一重・八重咲き	盃状	大輪	淡紫紅	後水尾天皇があまりの美しさに御車を返してご覧になったことに因む(一重と八重の論争とも)。
8	白妙(シロタエ)		4月中旬	八重咲き	盃状	大輪	白	染井吉野が終わってから栽培されていたものが、現在の栽培種の元となっている。
9	松月(ショウゲツ)	4月中旬	八重咲き	傘状	大輪	淡紅白	花の端が赤く中心は白くなり、花はある程度の集まりをつくり下に向かって垂れて咲く。	
10	関山(カンザン)	(晩春)	4月下旬	八重咲き	盃状	大輪	濃紅	海外でも広く栽培されている。また、お祝いの席で出される桜湯にはこの花の塩漬けが用いられる。
11	御衣黄(キョウコウ)		4月下旬	八重咲き	盃状	中輪	緑黄	緑黄色の花色が特異なため、古くから栽培されていたものといわれている。
12	普賢象(フケンゾウ)		4月下旬	八重咲き	盃状	大輪	淡紅	花の雌ずいの先端が曲がっていて、普賢菩薩が乗っている象の鼻に似ていることに因む。
計	12種		3月上旬~4月下旬	一重・八重咲き	4パターン	小~大輪	8色	

